紫尾山山頂付近の植物図鑑

Plants around summit of Mt. Shibi, Kagoshima

鹿児島大学総合研究博物館

第16回自然体験ツアー

2016年7月31日

鈴木英治

Kagoshima University Museum

Eizi Suzuki

はじめに

- この図鑑は、出水市とさつま町の堺にあり標高1067mの紫尾山山頂付近標高千m前後（地図参照）で見られる樹木や草52種について、写真で説明したものです。
- 植物の基本的な形で分けてあります（形の意味は7ページに）。
  （青い文字をクリックすると、そのページに移動します。）
- 種別の説明は下のグループ別に、8~59ページにあり、

グループ内では、およそ葉の小さい種から大きい種へ並んでいます。
写真の中にあるスケールは5cmまたは1cm(黒い棒）です。
上下に2枚の葉の写真がある場合には、上が葉の裏、下が表です。

- 60ページ以下に、和名順（学名付）、科別の種名リストがあります。

	落葉・常緑	葉のつき方	葉の縁	種数
樹木	落葉	対生	鋸歯	8 種
	落葉	対生	全縁	2 種
	落葉	互生	鋸歯	9 種
	落葉	互生	全縁	6 種
	常緑	対生	鋸歯	なし
	常緑	対生	全縁	なし
	常緑	互生	鋸歯	6 種
	常緑	互生	全縁	4 種
	針葉樹			2 種
	ツル植物			7 種
草	草本			5 種
	シダ植物			3 種

検索1

落葉	対生	鋸歯	

（高さは最大この程度になるという意味で、
より小さい幼木もあります）

	種名	高さ	目立つ特徴
1	コガクウツギ	1m	葉に光沢
2	オトコヨウゾメ	3	広葉。脈が直線的
3	コアカソ	1	高さ1mほど。葉柄が長く赤い
4	マユミ	3	無毛、枝が緑
5	ムラサキシキブ	3	短い毛がある。
6	ハマクサギ	5	大きな鋸歯。ちぎると臭い
7	コハウチワカエデ	5	7-11に裂ける
8	ウリハダカエデ	5	3裂

落葉	対生	全縁	

9	キガンピ	1	円い葉。高さ50cmほど
10	ヤマボウシ	5	カーブした葉脈

検索2

落葉	互生	鋸歯	

11	カマツカ	5	細かな鋸歯が多数
12	エゴノキ	5	荒い鋸歯が少し
13	ブナ	20	波打つような鋸歯
14	タンナワワフタギ	5	先に向かって曲がった鋸歯
15	アカシデ	10	毛が少ない
16	イヌシデ	10	毛が多い
17	クマシデ	10	側脈が20対以上
18	ヤマザクラ	10	葉柄に蜜線
19	リョウブ	5	枝先に葉が集まる

落葉	互生	全縁	

20	カナクギノキ	7	細い倒卵形の葉
21	シロモジ	5	3つに裂けた葉
22	ミズキ	7	カーブした側脈
23	シラキ	5	葉の基部が左右不対象
24	アカメガシワ	5	茶色毛が多い。鋸歯があることもある。
25	ホオノキ	10	長さ30cmになる大きな葉

検索3

常緑	互生	鋸歯	

26	ハイノキ	3	葉先が長く伸びる
27	ヒサカキ	5	裏で細かい脈が見える
28	サザンカ	5	厚く丈夫で小さい葉
29	ヤブツバキ	7	厚く丈夫な葉。細かな鋸歯
30	ウラジロガシ	20	裏が白い
31	アカガシ	20	長い葉柄。時に全縁

常緑	互生	全縁	

32	シキミ	5	ちぎると匂う。広い葉
33	サカキ	7	細長い葉。側脈見えず
34	イヌガシ	7	三主脈あり。小さめの葉
35	シロダモ	7	三主脈あり。大き目の葉

針葉樹	互生	全縁	細い葉

36	モミ	20	葉の先端が2つに割れる
37	イヌガヤ	10	葉の先端が一つ

検索４

ツル植物	ツルマサキ以外は落葉

38	ツルマサキ	対生　鋸歯　厚く小さな葉
39	サルトリイバラ	互生　全縁　三主脈
40	サンカクヅル	互生　鋸歯　ブドウ科
41	ツタ	互生　鋸歯　ブドウ科
42	ツルアジサイ	対生　鋸歯
43	ツルウメモドキ	互生　鋸歯
44	サルナシ	互生　鋸歯

草本	

45	コナスビ	対生　全縁　黄色花の小さな草
46	サンショウソウ	互生　鋸歯　湿った場所に多い
47	キンチャクアオイ	互生　全縁　ハート形の葉。林内
48	ナウトウダイ	互生　全縁　細い葉
49	ツクシガシワ	互生　鋸歯　広い葉　　林内

シダ植物	

50	トウゲシバ	高さ10cmほどの直立したコケのような植物
51	シシガシラ	長さ20cmほど、1回羽状複葉
52	コバノイシカグマ	長さ30cmほどで2-3回羽状複葉、多い。

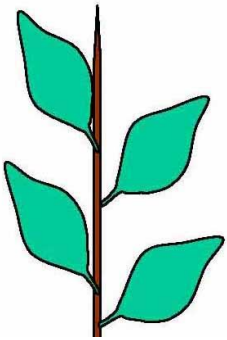
用語の説明

はじめに戻る

常緑樹：一年中葉がある。葉が厚く色も濃いことが多い。
落葉樹：冬などには葉がない。葉が薄く、色も薄いことが多い。

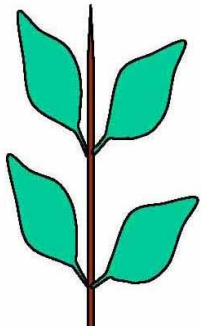
葉のつき方

互生



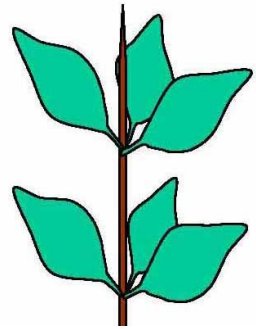
枝の1カ所に
1枚の葉

対生



枝の1カ所に
2枚の葉

輪生



(紫尾山山頂付近には
ない)

葉の縁

全縁

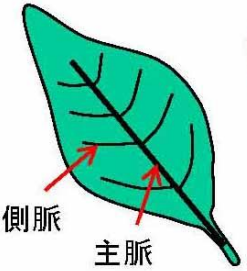
なめらか

鋸歯縁

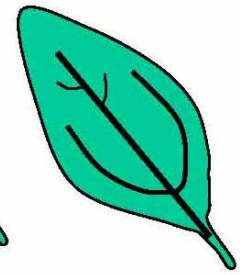
ギザギザ

葉脈

羽状脈



三主脈



1 コガクウツギ

落葉	対生	鋸歯	

Hydrangea luteovenosa（アジサイ科）

検索1へ　和名順1

高さ1mほどの低木。道端に多い。
葉に少し光沢がある
春にはアジサイの様な花をつける。
夏には先端に2つの突起（花柱の跡）がある実をつけている。

落葉	対生	鋸歯	

2 オトコヨウゾメ

Viburnum phlebotrichum（レンプクソウ科　旧スイカズラ科）

検索1へ　和名順1

秋に赤い実ができる（霧島）

落葉	対生	鋸歯	

3 コアカソ

Boehmeria spicata (イラクサ科)

検索1へ 和名順1

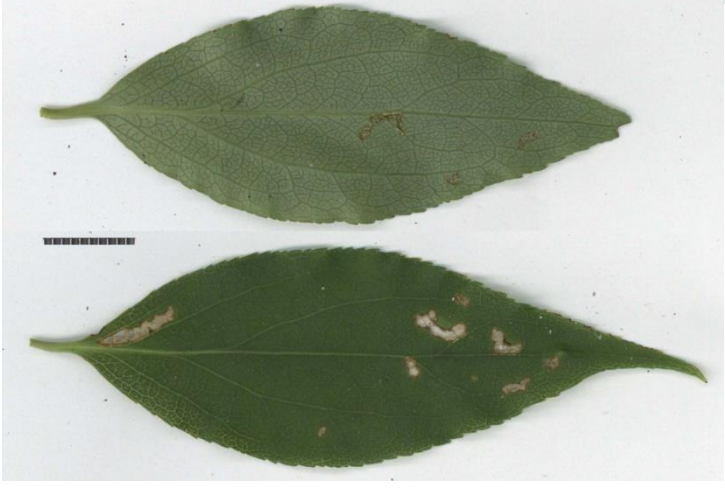
草のような小さな木。

落葉	対生	鋸歯	

4 マユミ

Euonymus sieboldianus（ニシキギ科）

検索1へ　和名順2



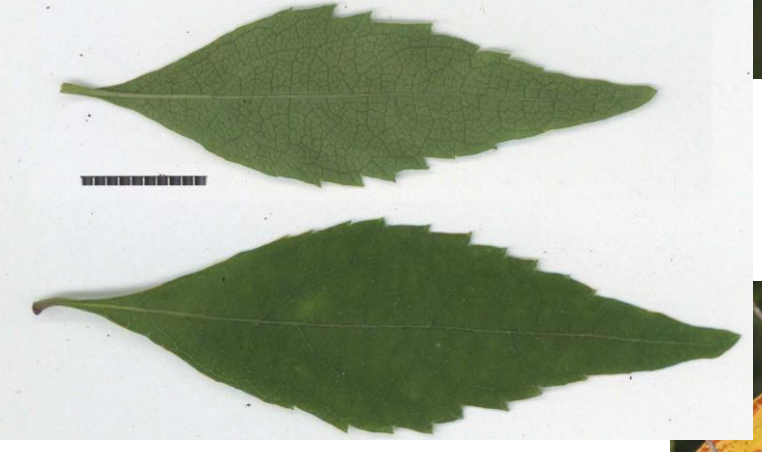
昔この材から弓を作ったので真弓の名前がある。

5 ムラサキシキブ

落葉	対生	鋸歯	

Callicarpa japonica（シソ科）

検索1へ　和名順2



葉や実は紫色で美しい。
紫尾山の低いところにはオオムラサキシキブなどもある

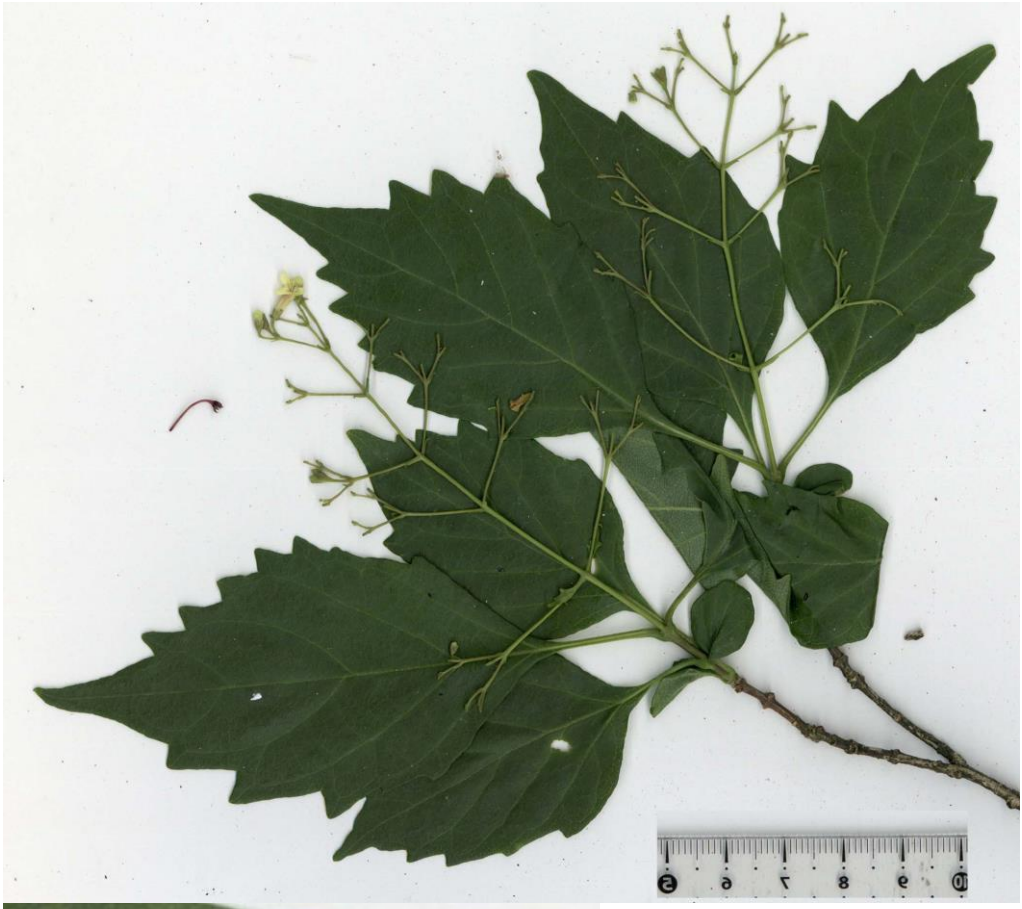
秋に実った実

落葉	対生	鋸歯	ちぎると臭い

6 ハマクサギ

Premna microphylla（シソ科）

検索1へ　和名順2



大きい鋸歯が目立つ。

落葉	対生	鋸歯	7-11裂

7 コハウチワカエデ

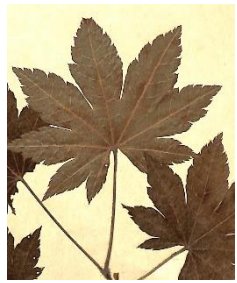
Acer sieboldianum（ムクロジ科　旧カエデ科）

検索1へ　和名順1

霧島　高千穂山

葉が7-11裂している。葉が少し小さいイロハモミジは5-7裂

イロハモミジ
鹿児島市
KAG1162



コハウチワカエデ
高隅山
KAG1282

8 ウリハダカエデ

落葉	対生	鋸歯	浅く三裂

検索1へ　和名順1

Acer rufinerve（ムクロジ科　旧カエデ科）

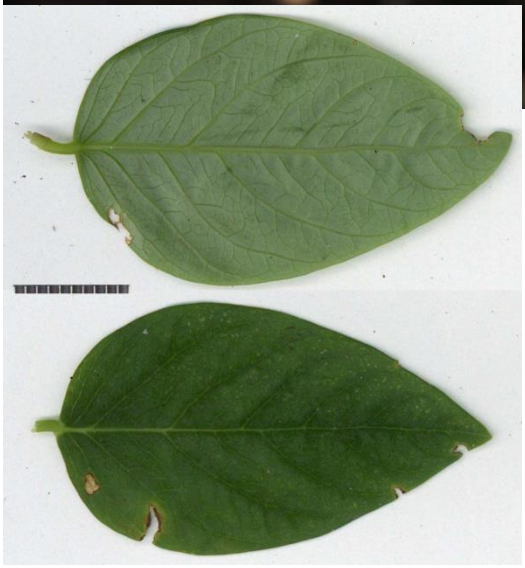
紫尾山山頂付近に多いカエデの仲間。浅く3つに裂ける

落葉	対生	全縁	高さ約1m

9 キガンピ

Diplomorpha trichotoma（ジンチョウゲ科）

検索1へ　和名順1



高さ1mほどの低木。
樹皮が丈夫で雁皮紙の材料になる。
花が黄色いので黄雁皮

落葉	対生	全縁	カーブした脈

10 ヤマボウシ

Cornus kousa subsp. *kousa*（ミズキ科）

検索1へ　和名順2

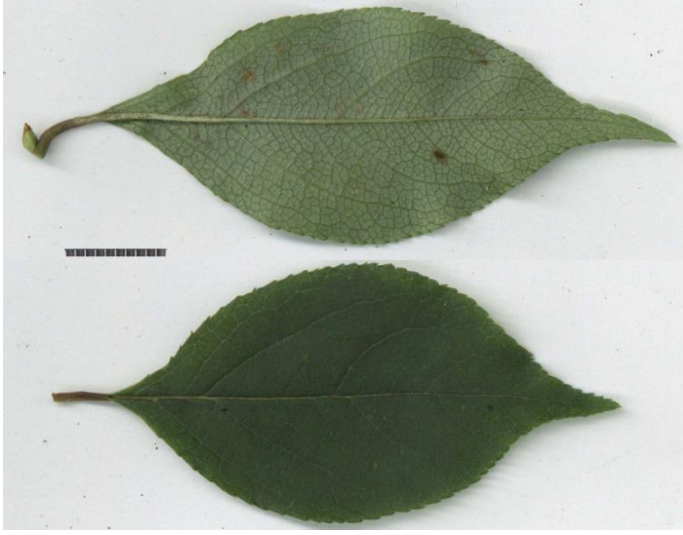
6月頃に白い大きな花を咲かせる。
葉は同じ属ミズキと似たなめらかなカーブを描く葉脈を持つのが特徴。しかし、ミズキやクマノミズキのようには葉柄が長くない。

落葉	互生	鋸歯	細かな鋸歯多数

11カマツカ

Pourthiaea villosa（バラ科）

検索2へ　和名順1



細かな鋸歯が多い。高さ数mの低木で、枝が丈夫なので、鎌の柄に使われるので、カマツカの名前がある。

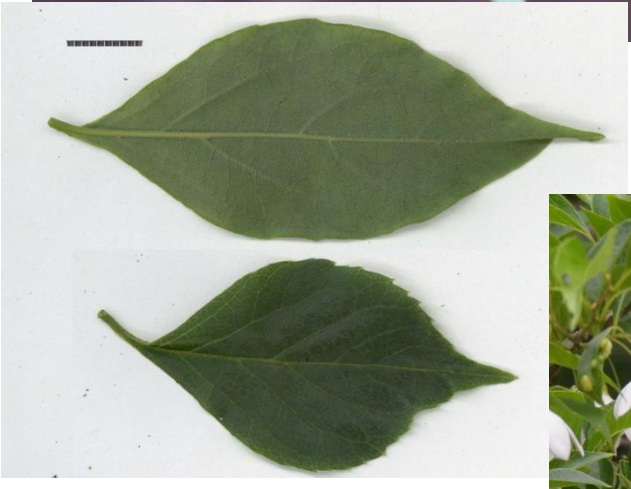
落葉	互生	鋸歯	

12エゴノキ

Styrax japonica（エゴノキ科）

検索2へ　和名順1

樹皮が赤茶色。葉には目立たない鋸歯がある。春に白い花をつけ、夏に丸い実をつける。



花と実

落葉	互生	鋸歯	波打つような脈

13ブナ

Fagus crenata（ブナ科）

検索2へ　和名順2

葉縁が波打つように（円鋸歯=crenate）なっている。
日本の冷温帯の落葉樹の優占種。大木になる。

実と殻斗（実を包む殻）
ドングリのようだが
断面が三角形

落葉	互生	鋸歯	鋭い鋸歯

14タンナサワフタギ

Symplocos coreana（ハイノキ科）

検索2へ　和名順2

鋸歯が葉先に向かって曲がっている

同じ属ノハイノキと似た花

低木層に多い。樹皮が灰色で、縦に割れ目が入って裂ける。

落葉	互生	鋸歯	側脈9-15対

15アカシデ

Carpinus laxiflora（カバノキ科）

検索2へ　和名順1

側脈9-15対
イヌシデに似るが、葉が小さく、毛がほとんどない。
鋸歯は葉が小さい割に大きい。
紫尾山山頂付近にはあまりない。

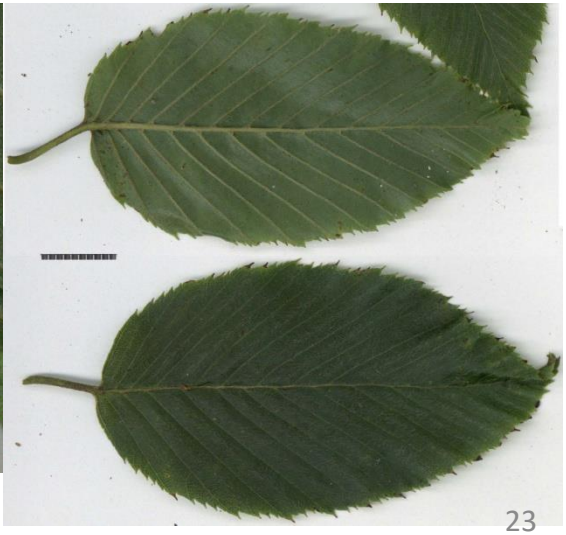
落葉	互生	鋸歯	側脈7-15対

16イヌシデ

Carpinus tschonoskii（カバノキ科）

検索2へ　和名順1

葉に毛が多い。



果苞の片側だけ鋸歯。
（クマシデは両側に鋸歯）

落葉	互生	鋸歯	側脈20対以上

17クマシデ

Carpinus japonica（カバノキ科）

検索2へ　和名順1

側脈が20-24対と非常に多い

シデの仲間いずれも硬木になり、一部分重鋸歯になる鋭い鋸歯をもち、幹は灰色で筋があって断面が円形にならない

落葉	互生	鋸歯	葉柄に蜜腺

18ヤマザクラ

Cerasus (Prunus) jamasakura（バラ科）

検索2へ　和名順2

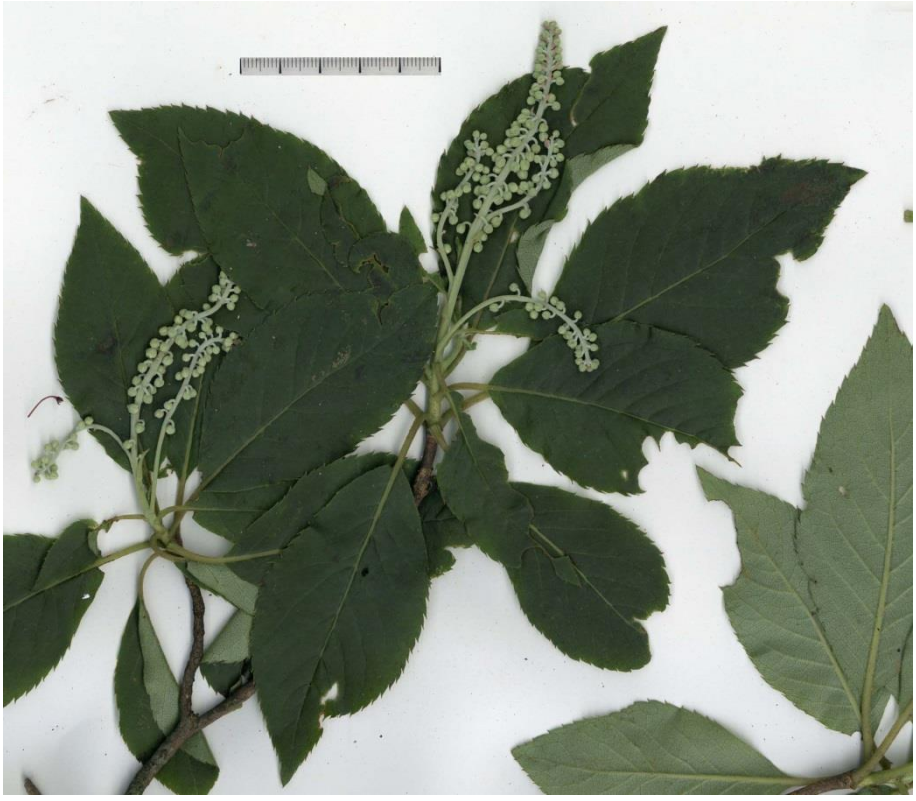
イヌシデなどに似た感じの葉だが
葉柄に腺点があることでサクラ属であることがわかる

落葉	互生	鋸歯	長い葉

19リョウブ

Clethra barbinervis（リョウブ科）

検索2へ　和名順2



落葉	互生	全縁	細長い葉

20カナクギノキ

Lindera erythrocarpa（クスノキ科）

検索2へ　和名順1

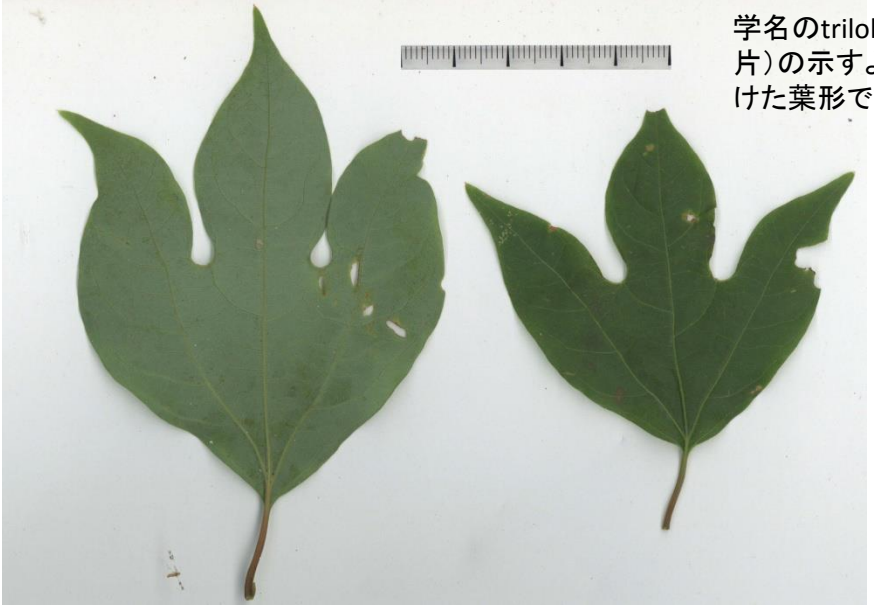
細長く柔らかい葉
枝先に葉が集まる。

落葉	互生	全緑	三裂した葉

21シロモジ

Lindera triloba（クスノキ科）

検索2へ　和名順2



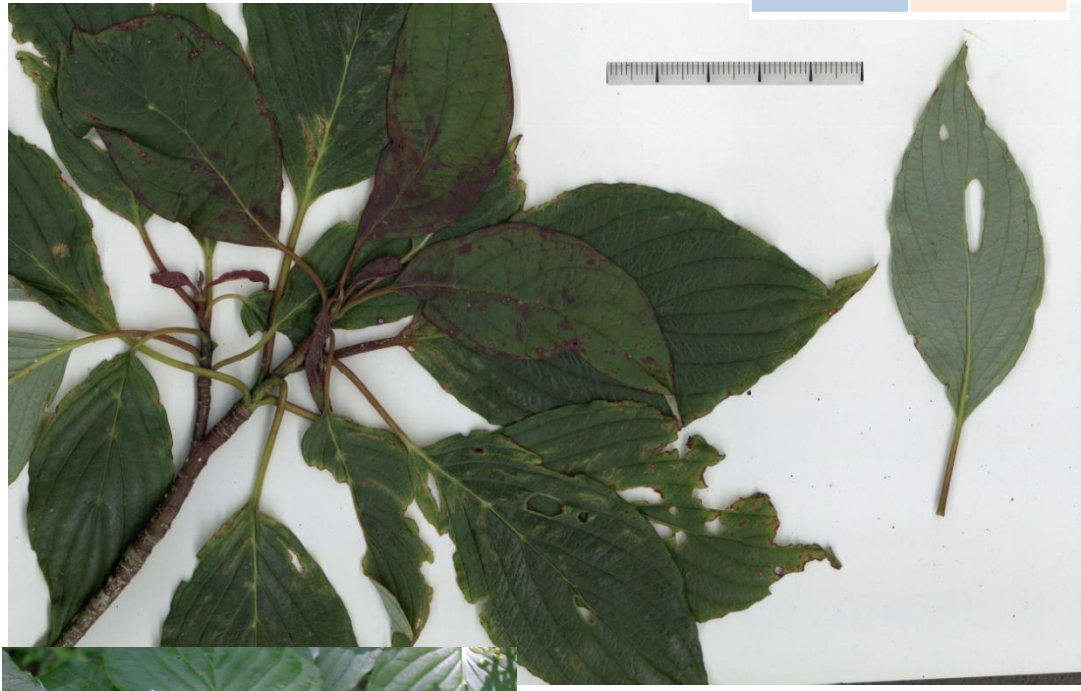
学名のtriloba(3つの裂片）の示すように3つに裂けた葉形ですぐにわかる

22ミズキ

Cornus controversa（ミズキ科）

落葉	互生	全縁	カーブした脈

検索2へ　和名順2



側脈が緩やかにカーブしている
ミズキは葉が互生だが、同じような葉で対生ならばクマノミズキで、紫尾山には両方ある。花は2種とも似ている。

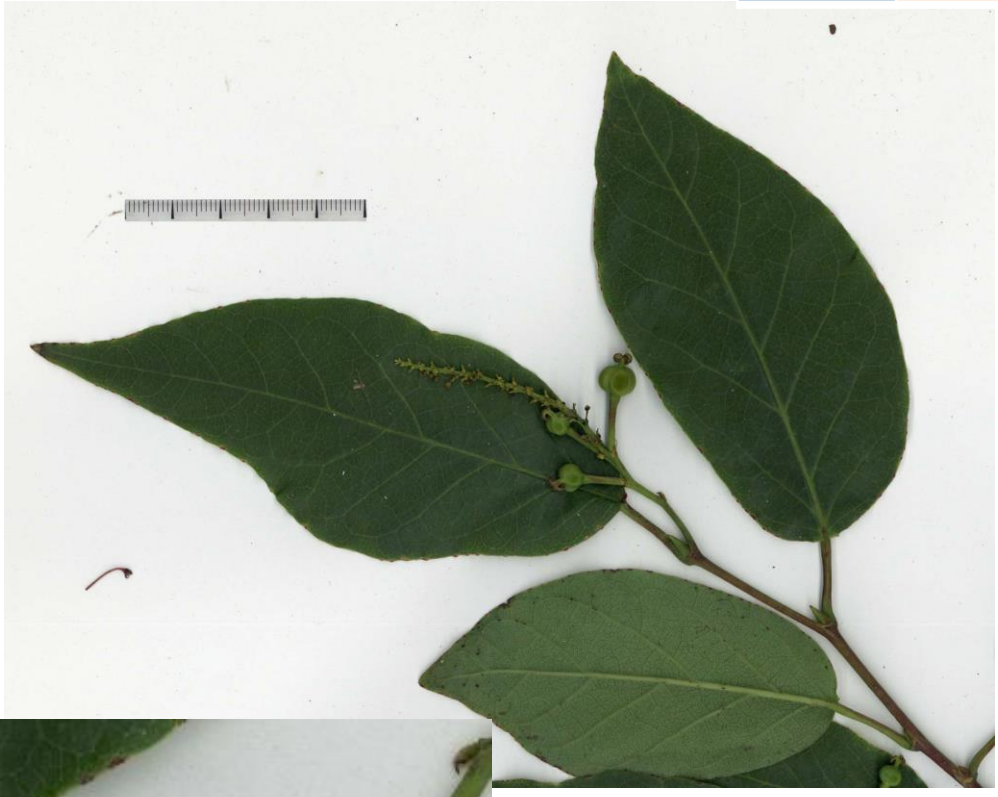
クマノミズキ(紫尾山登尾）

落葉	互生	全縁	無毛

23シラキ

Neoshirakia japonica（トウダイグサ科）

検索2へ　和名順2



大きく広い葉で、樹皮は白っぽい高さ数mの低木。
実は先端に花柱が残り、2又になっている。

落葉	互生	全縁/鋸歯	有毛

24アカメガシワ

Mallotus japonicus（トウダイグサ科）

検索2へ　和名順1

全体に赤茶色の短い毛が多い。葉柄が長く、葉身の基部から長い葉脈が出ている。葉の基部に蜜腺があり、アリがよく集まる。

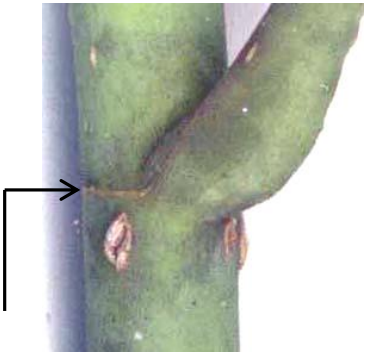
赤い新芽と、蜜腺に集まる虫（鹿児島市）

落葉	互生	全縁	大きな葉

25ホオノキ

Magnolia obovata（モクレン科）

検索2へ　和名順2



長さ20-30cmの大きな葉がつくのでわかりやすい。葉は食べ物を包むのに使われたり、材は下駄の歯によく使われた。

葉柄基部の茎に横筋があるのがこの属の特徴

26ハイノキ

常緑	互生	鋸歯	葉先が長い

Symplocos myrtacea（ハイノキ科）

検索3へ　和名順2

葉は革質だがあまり光沢がない。
葉脈はほとんど見えない。
幹は茶色の低木。
標高500~1000m前後に多い。
葉の先が長く伸びている。
写真の実はまだ若く緑色だが秋には黒く熟す
花は白

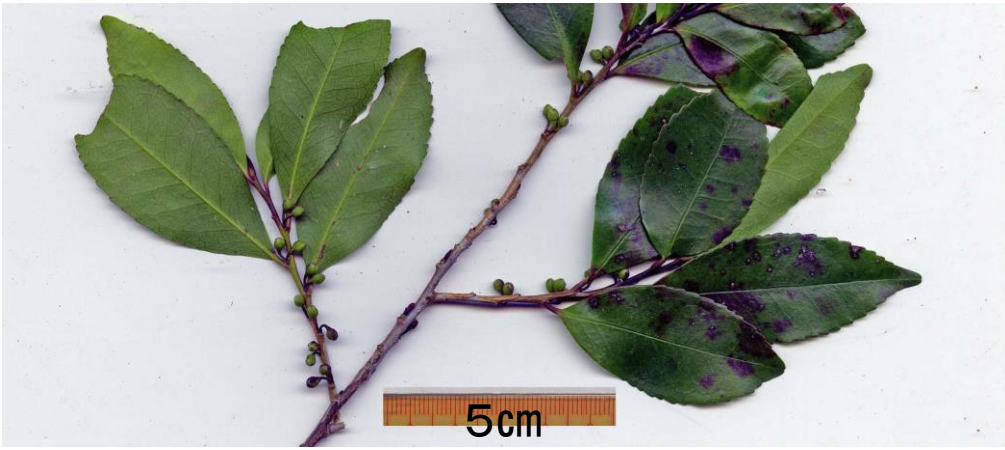
花(開聞岳）

常緑	互生	鋸歯	芽が曲がっている

27ヒサカキ

検索3へ　和名順2

Eurya japonica（モッコク科　旧ツバキ科）



葉は裏に細かな脈が見える。
芽が三日月のように曲がっている。
照葉樹林の低木として普通。

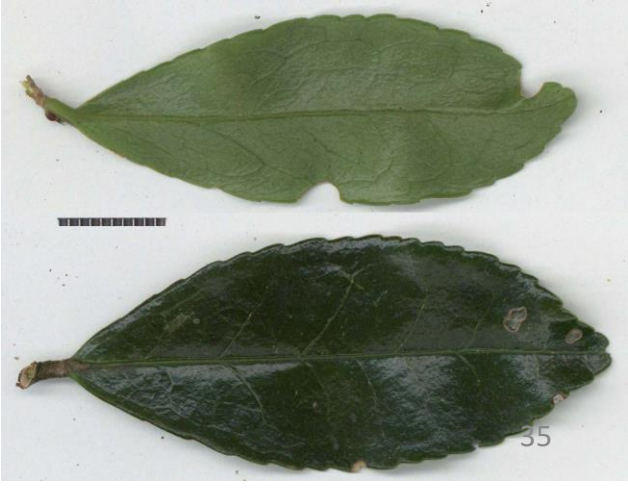
常緑	互生	鋸歯	

28サザンカ

Camellia sasanqua（ツバキ科）

検索3へ　和名順1

サザンカとヤブツバキは同属で白っぽくすべすべした幹で、葉も似ているが、
サザンカは、葉が小さく、左の写真のように枝先、芽、葉柄に短毛があるがヤブツバキは無毛



常緑	互生	鋸歯	

29ヤブツバキ

Camellia japonica（ツバキ科）

検索3へ　和名順2

厚く光沢のある葉。
葉の縁全体に細かな鋸歯がある。

常緑	互生	鋸歯	

30 ウラジロガシ

Quercus salicina（ブナ科）

検索3へ　和名順1

葉の裏が白い。アカガシと同じく高木になる。紫尾山山頂部ではアカガシほど多くない。

常緑	互生	鋸歯/全縁	長い葉柄

31アカガシ

Quercus acuta（ブナ科）

検索3へ　和名順1

革質の丈夫な葉で鋸歯が長い。鋸歯はあまり目立たず、全く鋸歯がない葉もある。高木になり照葉樹林上部の優占種。(材が赤いので、赤樫という)

32シキミ

常緑	互生	全縁	葉に匂い

Illicium anisatum（シキミ科）

検索3へ　和名順2

厚い葉でほとんど脈が見えない。
ちぎると独特な匂いがある。
仏壇に飾る

33サカキ

常緑	互生	全縁	脈が見えない

Cleyera japonica（モッコク科）

検索3へ　和名順1

革質の葉で側脈がほとんど見えない。
芽が左の写真のように長く、曲がっている
神社に飾る。

34イヌガシ

常緑	互生	全縁	三主脈

Neolitsea aciculata（クスノキ科）

検索3へ　和名順1

屋久島

葉脈が三主脈になり、
次のシロダモに似ている
葉が小さめで裏もあまり白くない。
花は赤色で春に咲く

35シロダモ

常緑	互生	全縁	三主脈

Neolitsea sericea（クスノキ科）

検索3へ　和名順2

野間岳

イヌガシに似ているが
葉が大きめで標高が低いところに多い。

花は黄色で秋に咲く

常緑	互生	全縁	針葉樹

36モミ

Abies firma（マツ科）

検索3へ　和名順2

高木になる。
枝が対生に出ている。
クリスマスツリーに使われる

葉の先端が二つに分かれている。

常緑	互生	全縁	針葉樹

37イヌガヤ

Cephalotaxus harringtonia（イヌガヤ科）

検索3へ　和名順1

モミより長い葉で、葉の先端が分かれていない。
似た種のカヤは、葉の先端が硬くて触ると痛いが、イヌガヤは柔らかいので痛くない。

38ツルマサキ

常緑	対生	鋸歯	ツル

Euonymus fortunei（ニシキギ科）

検索4へ　和名順2

マサキの葉を小さくした感じの葉
ほかの樹木に付着して成長する。

落葉	互生	全縁	ツル

39サルトリイバラ

Smilax china (サルトリイバラ科)

検索4へ　和名順1

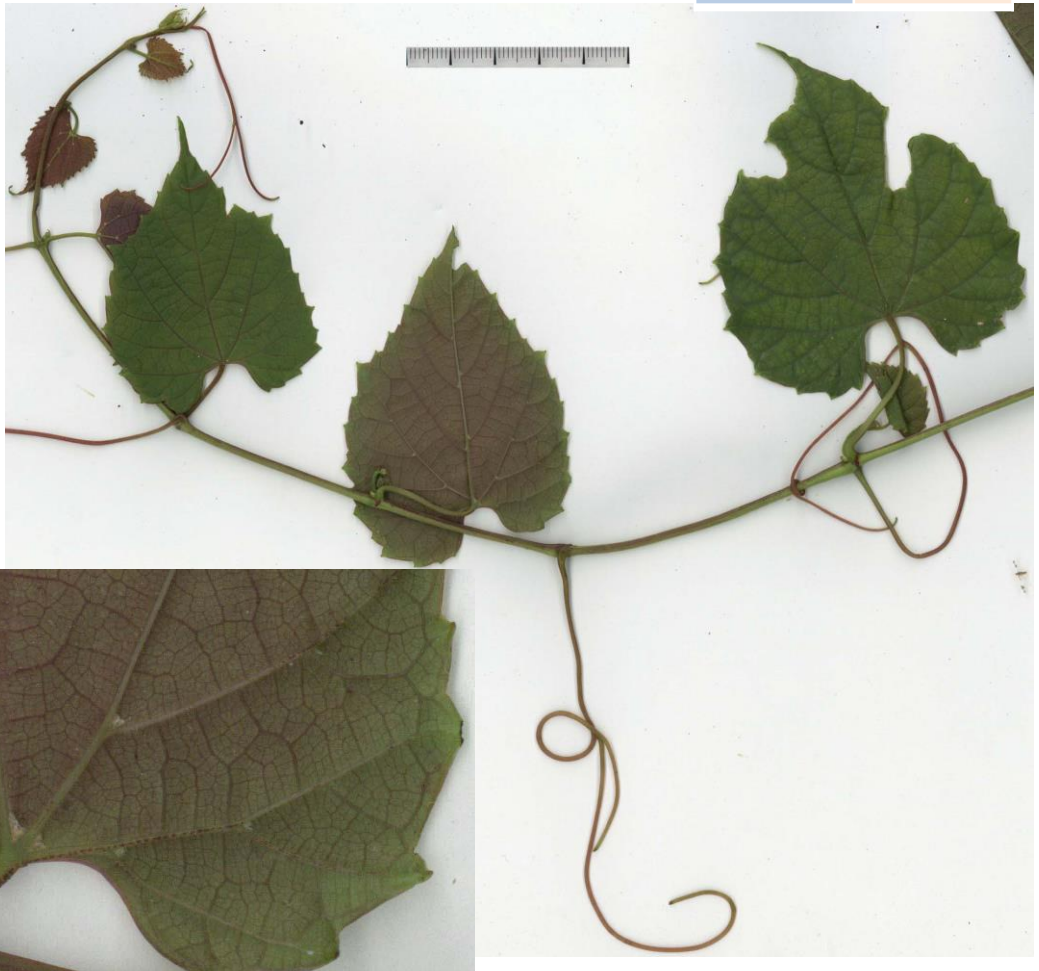
裏面は無毛。3主脈がある。
カカランダンゴの葉
カカラ＝鹿児島弁でサルトリイバラのこと
サルトリイバラは猿も引っかかって捕まってしまう茨の意味

落葉	互生	鋸歯	ツル

40サンカクヅル

Vitis flexuosa (ブドウ科)

検索4へ　和名順1



裏面はほぼ無毛。下のエビヅルは毛でおおわれている。

エビヅル　大崎町

落葉	互生	鋸歯	ツル

41ツタ （ナツヅタ）

Parthenocissus tricuspidata (ブドウ科)

検索4へ　和名順2

葉は浅く三裂し、ウリハダカエデに似た葉だが互生のツル。
レンガの建物などに這わせる植物。

若い個体は3枚に分かれた複葉になり、成熟した個体は単葉になる。
写真は、一つのツルに複葉と単葉がつながっている

落葉	対生	鋸歯	ツル

42ツルアジサイ

Hydrangea petiolaris (アジサイ科)

検索4へ　和名順2

アジサイの仲間で
ツルになる

イワガラミ
ツルアジサイに似ているが
装飾花のガクが1枚(屋久島)

落葉	互生	鋸歯	ツル

43ツルウメモドキ

Celastrus orbiculatus（ニシキギ科）

検索4へ　和名順2

サルナシより小さな葉で、
葉の付け根がハート形に
ならない。

紫尾山山頂付近には少ない。

44サルナシ

Actinidia arguta（マタタビ科）

落葉	互生	鋸歯	ツル

検索4へ　和名順1

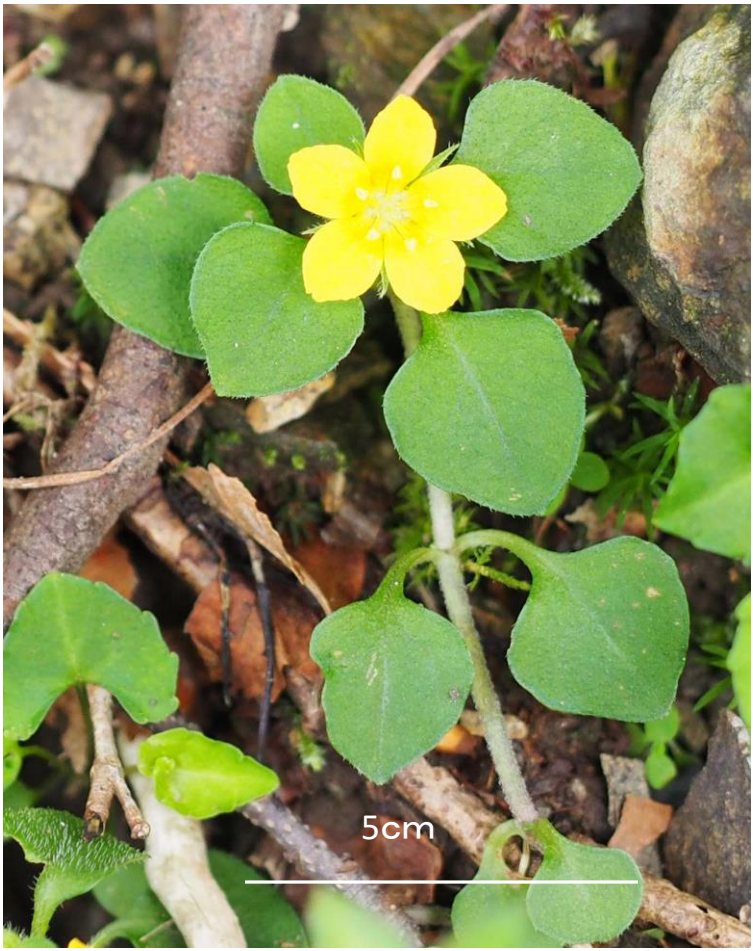
キウイフルーツの原種に近いツルで、キウイの実を小さくしたような実ができる。紫尾山の低地には似た植物でマタタビもあるが、マタタビは、ところどころ白い葉が混ざる。

葉の付け根が少しハート型になっている。葉柄が少し赤いことが多い。

45コナスビ

Lysimachia japonica（サクラソウ科）

検索4へ　和名順1



コナスビといっても、ナス科ではなくサクラソウ科の小さな草

46サンショウソウ

Pellionia minima（イラクサ科）

検索4へ　和名順1

湿ったところに生える小さな草。
サンショウに葉の感じが似ているのでサンショウソウという

47キンチャクアオイ

Asarum hexalobum var. *perfectum*（ウマノスズクサ科）

検索4へ　和名順1

林内の小さな草。
徳川家の家紋のフタバアオイの仲間。

48ナツトウダイ　*Euphorbia sieboldiana*（トウダイグサ科）

検索4へ　和名順2

高さ20-30cmの草本
灯台草は江戸時代の室内で使った灯台に形が似ていることに由来する名前で、本種は夏灯台。3－4個の腺体が尖り三日月型になっているの、他のトウダイグサと区別する特徴。

49ツクシガシワ

Vincetoxicum macrophyllum
（キョウチクトウ科　旧ガガイモ科

検索4へ　和名順2

花弁の表面に毛が多い

林内にある高さ2-40㎝の草本。ちぎると白い樹液が出る。
紫尾山山頂付近には比較的多い。

50トウゲシバ

Huperzia serrata（ヒカゲノカズラ科）

検索4へ　和名順2

高さ10cmほどの直立したシダ。少し暗い所に多い。
茎に付着している小さな丸いものが胞子嚢。

51シシガシラ

検索4へ　和名順2

Blechnum niponicum（シシガシラ科）

長さ20cmほどのシダ。道端の崖のようなところに多い。緑の葉は光合成を行い、茶色の葉は胞子を作る。
(似た形をしたシダはないので見分けやすい)

52コバノイシカグマ

Dennstaedtia scabra（コバノイシカグマ科）

検索4へ　和名順1

明るいところに多く、鹿に食べられないためか紫尾山山頂付近に非常に多い

胞子嚢が外向きに開いたコップ状になっているのがこの属の特徴

はじめに戻る

和名順1

	和名	科名	番号	学名
1	アカガシ	ブナ	31	Quercus acuta
2	アカシデ	カバノキ	15	Carpinus laxiflora
3	アカメガシワ	トウダイグサ	24	Mallotus japonicus
4	イヌガシ	クスノキ	34	Neolitsea aciculata
5	イヌガヤ	イヌガヤ	37	Cephalotaxus harringtonia
6	イヌシデ	カバノキ	16	Carpinus tschonoskii
7	ウラジロガシ	ブナ	30	Quercus salicina
8	ウリハダカエデ	ムクロジ	8	Acer rufinerve
9	エゴノキ	エゴノキ	12	Styrax japonica
10	オトコヨウゾメ	レンプクソウ	2	Viburnum phlebotrichum
11	カナクギノキ	クスノキ	20	Lindera erythrocarpa
12	カマツカ	バラ	11	Pourthiaea villosa
13	キガンピ	ジンチョウゲ	9	Diplomorpha trichotoma
14	キンチャクアオイ	ウマノスズクサ	47	Asarum hexalobum var. perfectum
15	クマシデ	カバノキ	17	Carpinus japonica
16	コアカソ	イラクサ	3	Boehmeria spicata
17	コガクウツギ	アジサイ	1	Hydrangea luteovenosa
18	コナスビ	ヤブコウジ	45	Lysimachia japonica
19	コハウチワカエデ	ムクロジ	7	Acer sieboldianum
20	コバノイシカグマ	コバノイシカグマ	52	Dennstaedtia scabra
21	サカキ	モッコク	33	Cleyera japonica
22	サザンカ	ツバキ	28	Camellia sasanqua
23	サルトリイバラ	サルトリイバラ	39	Smilax china
24	サルナシ	マタタビ	44	Actinidia arguta
25	サンカクヅル	ブドウ	40	Vitis flexuosa
26	サンショウソウ	イラクサ	46	Pellionia minima

はじめに戻る

和名順2

	和名	科名	番号	学名
27	シキミ	シキミ	32	Illicium anisatum
28	シシガシラ	シシガシラ	51	Blechnum niponicum
29	シラキ	トウダイグサ	23	Neoshirakia japonica
30	シロダモ	クスノキ	35	Neolitsea sericea
31	シロモジ	クスノキ	21	Lindera triloba
32	タンナサワフタギ	ハイノキ	14	Symplocos coreana
33	ツクシガシワ	キョウチクトウ	49	Vincetoxicum macrophyllum
34	ツタ（ナツヅタ）	ブドウ	41	Parthenocissus tricuspidata
35	ツルアジサイ	アジサイ	42	Hydrangea petiolaris
36	ツルウメモドキ	ニシキギ	43	Celastrus orbiculatus
37	ツルマサキ	ニシキギ	38	Euonymus fortunei
38	トウゲシバ	ヒカゲノカズラ	50	Huperzia serrata
39	ナツトウダイ	トウダイグサ	48	Euphorbia sieboldiana
40	ハイノキ	ハイノキ	26	Symplocos myrtacea
41	ハマクサギ	シソ	6	Premna microphylla
42	ヒサカキ	モッコク	27	Eurya japonica
43	ブナ	ブナ	13	Fagus crenata
44	ホオノキ	モクレン	25	Magnolia obovata
45	マユミ	ニシキギ	4	Euonymus sieboldianus
46	ミズキ	ミズキ	22	Cornus controversa
47	ムラサキシキブ	シソ	5	Callicarpa japonica
48	モミ	マツ	36	Abies firma
49	ヤブツバキ	ツバキ	29	Camellia japonica
50	ヤマザクラ	バラ	18	Cerasus jamasakura
51	ヤマボウシ	ミズキ	10	Cornus kousa
52	リョウブ	リョウブ	19	Clethra barbinervis

科名順1

	科名	和名	番号	学名
1	アジサイ（スイカズラ）	コガクウツギ	1	Hydrangea luteovenosa
2	アジサイ（スイカズラ）	ツルアジサイ	42	Hydrangea petiolaris
3	イヌガヤ	イヌガヤ	37	Cephalotaxus harringtonia
4	イラクサ	コアカソ	3	Boehmeria spicata
5	イラクサ	サンショウソウ	46	Pellionia minima
6	ウマノスズクサ	キンチャクアオイ	47	Asarum hexalobum var. perfectum
7	エゴノキ	エゴノキ	12	Styrax japonica
8	カバノキ	アカシデ	15	Carpinus laxiflora
9	カバノキ	イヌシデ	16	Carpinus tschonoskii
10	カバノキ	クマシデ	17	Carpinus japonica
11	キョウチクトウ	ツクシガシワ	49	Vincetoxicum macrophyllum
12	クスノキ	イヌガシ	34	Neolitsea aciculata
13	クスノキ	カナクギノキ	20	Lindera erythrocarpa
14	クスノキ	シロダモ	35	Neolitsea sericea
15	クスノキ	シロモジ	21	Lindera triloba
16	コバノイシカグマ	コバノイシカグマ	52	Dennstaedtia scabra
50	サクラソウ	コナスビ	45	Lysimachia japonica
17	サルトリイバラ	サルトリイバラ	39	Smilax china
18	シキミ	シキミ	32	Illicium anisatum
19	シシガシラ	シシガシラ	51	Blechnum niponicum
20	シソ（クマツヅラ）	ハマクサギ	6	Premna microphylla
21	シソ（クマツヅラ）	ムラサキシキブ	5	Callicarpa japonica
22	ジンチョウゲ	キガンピ	9	Diplomorpha trichotoma
23	ツバキ	サザンカ	28	Camellia sasanqua
24	ツバキ	ヤブツバキ	29	Camellia japonica
25	トウダイグサ	アカメガシワ	24	Mallotus japonicus
26	トウダイグサ	シラキ	23	Neoshirakia japonica
27	トウダイグサ	ナツトウダイ	48	Euphorbia sieboldiana

科名順2

	科名	和名	番号	学名
28	ニシキギ	ツルウメモドキ	43	Celastrus orbiculatus
29	ニシキギ	ツルマサキ	38	Euonymus fortunei
30	ニシキギ	マユミ	4	Euonymus sieboldianus
31	ハイノキ	タンナサワフタギ	14	Symplocos coreana
32	ハイノキ	ハイノキ	26	Symplocos myrtacea
33	バラ	カマツカ	11	Pourthiaea villosa
34	バラ	ヤマザクラ	18	Cerasus jamasakura
35	ヒカゲノカズラ	トウゲシバ	50	Huperzia serrata
36	ブドウ	サンカクヅル	40	Vitis flexuosa
37	ブドウ	ツタ	41	Parthenocissus tricuspidata
38	ブナ	アカガシ	31	Quercus acuta
39	ブナ	ウラジロガシ	30	Quercus salicina
40	ブナ	ブナ	13	Fagus crenata
41	マタタビ	サルナシ	44	Actinidia arguta
42	マツ	モミ	36	Abies firma
43	ミズキ	ミズキ	22	Cornus controversa
44	ミズキ	ヤマボウシ	10	Cornus kousa
45	ムクロジ（カエデ）	ウリハダカエデ	8	Acer rufinerve
46	ムクロジ（カエデ）	コハウチワカエデ	7	Acer sieboldianum
47	モクレン	ホオノキ	25	Magnolia obovata
48	モッコク（ツバキ）	サカキ	33	Cleyera japonica
49	モッコク（ツバキ）	ヒサカキ	27	Eurya japonica
51	リョウブ	リョウブ	19	Clethra barbinervis
52	レンプクソウ(スイカズラ）	オトコヨウゾメ	2	Viburnum phlebotrichum

あとがき

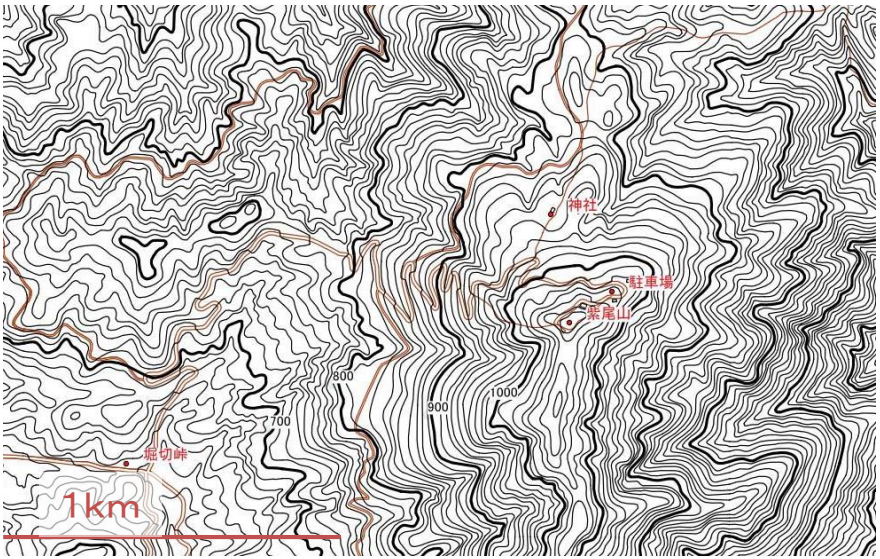
はじめに戻る

この資料は、鹿児島大学総合研究博物館 主催の第16回自然体験ツアー「南限ブナ林の植物観察」ために作成されました。
すべて鈴木英治が撮影しましたが、場所の説明がない写真は、紫尾山山頂付近の標高千m前後で撮られたものです。この図鑑は個人的に使われる場合自由にコピーしてください。ただし写真の所有権は鈴木英治にあります。写真だけ取り出して他の用途に使われる時などにはご連絡ください。
一部の植物で鹿児島大学博物館の植物標本写真を使っていますが、それらは、次のホームページから自由に見ることができます（現在29000点公開中）

http://dbs.kaum.kagoshima-u.ac.jp/musedb/s_plant/picture/KAGExplain.html

2016年7月　鈴木英治

紫尾山山頂部の地図



国土地理院基盤地図情報より